

八戸市地域おこし協力隊活動状況報告書

八戸市長
熊谷 雄一 殿

隊員氏名 福岡 沙織

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2024年9月分】

1. 実施した活動の概要・状況

ふるさと寄附金業務、取材・撮影、メディア取材対応、視察及びSNSによる広報活動を行った。

(主な活動)「日本一の芋煮会フェスティバル」視察

9月15日(日)に山形県山形市で行われた「日本一の芋煮会フェスティバルツアー」を視察した。山形県が発祥の定番行事であった「芋煮会」を一大イベントとして確立させ、山形県の観光を盛り上げる目的で1989年から始まった。今年で36回目を迎え、日本全国から多くの人々が訪れるイベントとなった。

参加したツアーには、仙台駅から芋煮会場までのバス送迎と、会場内でのラウンジ(食事スペース)利用が含まれていた。東北地方の中心であり、新幹線や空港といった交通網が発達している仙台市をバスの発着点とすることで、全国から来る観光客がイベントに参加しやすいプランであった。通常必要な受付や芋煮を受け取る行列に並ぶことなくスムーズに会場へ移動でき、待ち時間なく食事ができた。ラウンジ内にはスタッフが常に5人ほどが在中し、できたての芋煮や焼きたての米沢牛ステーキセットなどがテーブルに運ばれ、一般客は各自で行列に並ぶ必要がある芋煮のおかわりをスタッフがテーブルまで運んでくれた。また、地元のお菓子や果物、酒類がビュッフェスタイルで設置され自由に食べられるという内容であった。

山形県が誇る集客力の高い芋煮会フェスティバルに、ツアーを利用して参加したことで気づいた点は、多くの来場者で混雑するイベントにおいて、優先的に案内されることがツアー商品としての大きな価値があることだ。「行列に並ばなくて済む」「待ち時間が無い」という価値に対してツアー参加者は料金を払うのだと分かった。新たなツアーやイベントを造成または宣伝する際、今回の視察結果を参考にしたい。



芋煮会会場



芋煮と地元の食材

2. 翌月の活動予定

ふるさと寄附金業務・新規返礼品提案、SNS 発信、視察、ラジオ出演。